ふじみ野

No.70
R5.8.1 発行
埼玉県ふじみ野市議会

市議会だより

CONTENTS

議会の構成が新しくなりました　2p
持続可能な公共施設を目指して　4p
連載企画 事業者に聞く　7p
市政を問う！一般質問 17人が政策論議　8p

働く人シリーズ㊾ペットトリマー

ハサミやバリカンを使って、愛犬・愛猫のトリミングを行い、見た目の美しさを整えます。
また、ペットの外見からわかる健康状態も見て、飼い主にアドバイスしています。（14ページに関連記事を掲載）

議会の構成が新しくなりました

市民の負託に応える議会を目指して

5月19日の臨時会におきまして、正副議長に就任いたしました。身に余る光栄とその職責の重さを痛感しております。

私たち市議会はその果たすべき役割を十分に認識し、市民の皆様の負託に的確に応える議会を目指し、議員一人ひとりが自己研さんを積み、安全・安心な市政の推進に二元代表制の一翼としてまい進してまいります。

今後とも、市民の皆様におかれましては、市議会に対し、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

正副議長あいさつ

副議長
加藤　恵一（かとう　けいいち）

議　長
島田　和泉（しまだ　いずみ）

⑦ 鈴木宏樹（すずき　ひろき）
（青　藍　会）
松山二丁目
［市民・都市］
［予算・決算］
［議 会 運 営］

④ 鈴木美恵（すずき　みえ）
（公　明　党）
亀久保
［生活・福祉］
［議 会 広 報］　◎
［予算・決算］
［議 会 運 営］

① 古越孝子（ふるこしたかこ）
（公　明　党）
仲一丁目
［生活・福祉］
［議 会 広 報］
［予算・決算］

⑧ 板倉　篤（いたくら　あつし）
（青　藍　会）
亀久保三丁目
［生活・福祉］
［議 会 広 報］
［予算・決算］

⑤ 川島秀男（かわしまひでお）
（青　藍　会）
新田二丁目
［総務・教育］
［議 会 広 報］
［予算・決算］

② 金濵高顕（かねはまこうけん）
（無　所　属）
清見二丁目
［総務・教育］　○
［予算・決算］

⑨ 鈴木啓太郎（すずき　けいたろう）
（無　所　属）
上福岡四丁目
［生活・福祉］
［予算・決算］

⑥ 前田広子（まえだ　ひろこ）
（青　藍　会）
大井中央二丁目
［総務・教育］
［予算・決算］

③ 坪田敏孝（つぼた　としたか）
（無　所　属）
駒林元町三丁目
［市民・都市］　○
［予算・決算］

議席番号・氏名
（会派）
住所
所属委員会
※委 員 長 ◎
副委員長 ○

◎入間東部地区事務組合
本市と富士見市、三芳町によって構成され、火災の予防・消火や救急・救助といった消防行政に関すること、また、し尿処理や火葬場・斎場の管理といった衛生行政に関することを行っています。

◎入間東部地区事務組合議会選出議員
前田　広子　　島田　和泉　　原田　雄一
山田　敏夫　　塚越　洋一

⑱ 山田敏夫（やまだ　としお）
（青　藍　会）
滝三丁目
［総務・教育］
［予算・決算］
［議 会 運 営］

⑭ 島田和泉（しまだ　いずみ）
（公　明　党）
亀久保二丁目
［市民・都市］
［予算・決算］

⑩ 近藤善則（こんどうよしのり）
（無　所　属）
中ノ島一丁目
［総務・教育］
［予算・決算］

⑲ 民部佳代（みんぶかよ）
（無　所　属）
市沢三丁目
［市民・都市］　◎
［議 会 広 報］
［予算・決算］

⑮ 原田雄一（はらだ　ゆういち）
（青　藍　会）
福岡
［生活・福祉］　◎
［予算・決算］

⑪ 足立志津子（あだちしづこ）
（日本共産党）
築地三丁目
［生活・福祉］　○
［予算・決算］

⑳ 床井紀範（とこいよしのり）
（日本共産党）
上福岡六丁目
［総務・教育］
［議 会 広 報］　○
［予算・決算］
［議 会 運 営］

⑯ 加藤恵一（かとうけいいち）
（青　藍　会）
上福岡二丁目
［市民・都市］
［予算・決算］

⑫ 田中早苗（たなかさなえ）
（日本共産党）
元福岡二丁目
［市民・都市］
［議 会 広 報］
［予算・決算］

㉑ 塚越洋一（つかこしよういち）
（日本共産党）
大井中央二丁目
［市民・都市］
［予算・決算］　○
［議 会 運 営］　○

⑰ 小林憲人（こばやしのりひと）
（青　藍　会）
南台一丁目
［生活・福祉］
［予算・決算］　◎
［議 会 運 営］　◎

⑬ 川畑京子（かわばたきょうこ）
（公　明　党）
南台二丁目
［総務・教育］　◎
［予算・決算］
［議 会 運 営］

所属委員会って？

市議会には全員が参加する本会議のほか、議案などを専門的に詳しく審査するため分野ごとに委員会を設け、委員の定数も定められています。現在、ふじみ野市議会には５つの常任委員会と議会運営委員会があります。

委員会名	定数	担当する範囲
総務・教育常任委員会	7人	総合政策、防災、広報・広聴、財政、電算システム、市税、会計、学校教育、社会教育、選挙、監査などに関すること
市民・都市常任委員会	7人	コミュニティ、環境衛生、農業・産業振興、都市計画、交通安全、上下水道などに関すること
生活・福祉常任委員会	7人	戸籍・住民基本台帳、市民相談、社会福祉、子育て支援、介護保険、保健衛生などに関すること
議会広報常任委員会	7人	市議会だよりの編集・発行に関すること
予算・決算常任委員会	21人	一般会計、特別会計、企業会計の予算及び決算に関すること
議会運営委員会	7人	円滑な議会運営や、議長の諮問等に関すること

議案審議

本会議・委員会での質疑をまとめています。

令和5年
第1回臨時会 5/19
第2回定例会 6/5▶6/23

市議会議員選挙後初の令和5年第1回臨時会では、議長選挙など議会人事のほか、市長提出議案6件を審議、全て可決し閉会しました。
令和5年第2回定例会では、文化施設整備事業や図書館管理運営事業などの増額を含む一般会計補正予算や、自転車駐車場条例など市長提出議案28件を審議、全て可決しました。また、議員提出議案の意見書1件を可決しました。

持続可能な公共施設を目指して

補正予算 全員賛成で可決

上福岡図書館を大幅にリニューアル

令和5年度一般会計補正予算（第3号）

問 改修工事の概要は。

答 設備の老朽化に対処し安全で利便性の高い快適な施設とするため改修する。

具体的には、外部改修として外壁タイル改修、屋上全面防水。内部改修として内装改修、照明のLED化、トイレのバリアフリー化、授乳室の新設、死角の少ない配架レイアウトへの変更を行う。また、設備面では空調設備、エレベーター、キュービクル等の更新を行う。

問 工事スケジュールは。

答 令和5年11月に着工し、令和6年10月の再開を予定している。なお、キュービクルの更新は令和7年7月の蔵書点検に合わせて行う予定である。

問 閉館中の窓口業務は。

答 令和5年11月上旬からイオンタウンふじみ野内に臨時窓口を開設する予定である。

この窓口では予約受付やレファレンスサービス、予約本の受け取りや返却ができるようにするほか、イオンタウン敷地内に返却ポストの設置も予定している。

問 その他の事業は。

答 読み聞かせなどの事業は、公共施設など他の施設を利用し、継続して実施していく予定である。

条例改正 全員賛成で可決

公共施設予約キャンセルで使用料を還付

市立産業文化センター条例など

これまでは予約時に納付した公共施設の使用料は原則還付されませんでした。新たにオープンするステラ・ウェスト等のホールは1年前から予約可能となります。それに伴い文化施設・スポーツ施設等の予約をキャンセルした場合に、使用料が還付できるよう条例が改正されました。

問 条例改正の内容は。

答 キャンセルが発生した後に他の利用者が利用できるよう、早期のキャンセルには使用料の一部を還付する。

市の公共施設において、統一的な基準を定めることとした。

問 還付の基準は。

答 各施設において使用料の還付に関する規定を追加しており、還付可能時期などの詳細は、個別の施設の規則で定める。

納付された施設の使用料を還付することについては、近隣自治体の状況や利用実態等を踏まえ、利用日の1ヵ月前までにキャンセルした場合、納付された使用料の半分を還付することを基本とする。

問 ステラ・ウェストホールなど1年前から予約できる施設の扱いは。

答 利用日の6ヵ月前までにキャンセルした場合は、7割を還付し、3ヵ月前までにキャンセルした場合は、5割を還付することとする。

なお、今後運用していく中で、その効果や還付の在り方について、引き続き研究していく。

産業文化センター受付

条例改正 賛成多数で可決

自転車駐車場の料金見直しと統廃合

自転車駐車場条例

自転車駐車場の安定した運営のため、使用料が改正されます。また、稼働率が低い苗間第1自転車駐車場が廃止されます。

問 条例改正の経緯は。

答 調査の結果、上福岡駅周辺の市営と民間の自転車駐車場での稼働率に差があることが判明した。要因として、定期利用料の格差が大きいことが考えられる。また、生活スタイルの変化により自転車駐車場の一時利用への変化が生じている。

現在の条件では収支の改善が見込めず、今後公募に応じる事業者が現れないことが懸念されている。そこで使用料を改正することで、収支の改善及び民業圧迫についても改善が図られると判断した。

問 変更される内容は。

答 大きく2点あり、1点目は使用料の改正により定期利用料金を年間1万5千円から1万8千円に、一時利用料金を1日100円から150円にする。2点目は、ふじみ野駅苗間第1自転車駐車場を廃止し、苗間第2自転車駐車場と統合する。

廃止される苗間第1自転車駐車場

意見書 賛成多数で可決

外国資本等による土地売買等に関する法整備を求める意見書

近年、外国資本による水源地域等の土地取得が問題となっている。また、自衛隊施設の隣接地購入など安全保障上も懸念がある。

よって、国に対し外国資本等の土地売買等を規制し管理体制を構築するための法整備を要請する。　送付日：令和5年6月23日（主意抜粋）

◆議案に対する質疑

青藍会　山田　敏夫　議員
公明党　鈴木　美恵　議員
日本共産党　床井　紀範　議員

令和5年第1回臨時会の提出議案と審議結果

●全会一致で可決した議案

議案番号	議案名	議決結果	議案番号	議案名	議決結果
第27号議案	専決処分の承認を求めることについて（令和５年度ふじみ野市一般会計補正予算（第１号））	承認	第30号議案	専決処分の承認を求めることについて（ふじみ野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認
第28号議案	専決処分の承認を求めることについて（ふじみ野市税条例の一部を改正する条例）	承認	第31号議案	令和５年度ふじみ野市一般会計補正予算（第２号）	可決
第29号議案	専決処分の承認を求めることについて（ふじみ野市都市計画税条例の一部を改正する条例）	承認	第32号議案	監査委員の選任について	同意

令和5年第2回定例会の提出議案と審議結果

●全会一致で可決した議案

議案番号	議案名	議決結果	議案番号	議案名	議決結果
第33号議案	令和５年度ふじみ野市一般会計補正予算（第３号）	可決	第48号議案	ふじみ野市立文化施設条例の一部を改正する条例	可決
第34号議案	令和５年度ふじみ野市介護保険特別会計補正予算（第１号）	可決	第49号議案	ふじみ野市立エコパ条例の一部を改正する条例	可決
第35号議案	ふじみ野市立コスモスホール条例	可決	第50号議案	ふじみ野市上福岡ゲートボール場条例の一部を改正する条例	可決
第36号議案	ふじみ野市立旭ふれあいセンター条例	可決	第51号議案	ふじみ野市立介護予防センター条例の一部を改正する条例	可決
第37号議案	ふじみ野市立産業文化センター条例	可決	第52号議案	ふじみ野市都市公園条例の一部を改正する条例	可決
第38号議案	ふじみ野市立大井総合福祉センター条例	可決	第53号議案	ふじみ野市立図書館条例の一部を改正する条例	可決
第39号議案	ふじみ野市荒川第２運動公園条例	可決	第54号議案	ふじみ野市立公民館条例の一部を改正する条例	可決
第40号議案	ふじみ野市びん沼サッカー場条例	可決	第55号議案	ふじみ野市学校運動場照明施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決
第42号議案	ふじみ野市税条例の一部を改正する条例	可決	第56号議案	ふじみ野市文化施設整備事業建設工事請負変更契約の締結について	可決
第43号議案	ふじみ野市立ゆめぽると条例の一部を改正する条例	可決	第57号議案	財産の取得について	可決
第44号議案	ふじみ野市市民憩の森条例の一部を改正する条例	可決	第58号議案	ふじみ野市道路線の認定について	可決
第45号議案	ふじみ野市立市民交流プラザ条例の一部を改正する条例	可決	第59号議案	ふじみ野市総合センターフクトピア空調機更新工事請負契約の締結について	可決
第46号議案	ふじみ野市立鶴ケ岡コミュニティセンター条例の一部を改正する条例	可決	第60号議案	ふじみ野市立大井東中学校校舎大規模改造工事請負契約の締結について	可決
第47号議案	ふじみ野市立スポーツセンター条例の一部を改正する条例	可決			

●賛否が分かれた議案

○：賛成　×：反対

議案番号	議案名	議決結果	青藍会								公明党				日本共産党				会派に属さない	会派に属さない	会派に属さない	会派に属さない	会派に属さない
			川島 秀男	前田 広子	鈴木 宏樹	板倉 篤	原田 雄一	加藤 恵一	小林 憲人	山田 敏夫	古越 孝子	鈴木 美恵	川畑 京子	島田 和泉	足立志津子	田中 早苗	床井 紀範	塚越 洋一	金濱 高顕	坪田 敏孝	鈴木啓太郎	近藤 善則	民部 佳代
第41号議案	ふじみ野市自転車駐車場条例	可決	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	×	×	×	×	○	○	○	○	○
議第1号議案	外国資本等による土地売買等に関する法整備を求める意見書	可決	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	×	×	×	×	○	○	○	○	○

※議長は採決に加わっていません。

連載企画 事業者に聞く　税務署と納税者の橋渡し役

黒巣（くろす）　益彰（みつあき）さん

税制を分かりやすく解説し、適切な納税をアドバイスする税理士さんにお話を伺いました。

Q　税理士になったきっかけは。

A　もともと数字や数学が好きで、経理は数字がゴールで分かりやすいことから税理士を目指しました。会計事務所、一般企業を経て36歳の時に独立して現在の税理士事務所を立ち上げました。

Q　税理士に求められていることは。

A　税制は年々高度化、細分化しており直近ではインボイス制度や電子帳簿保存法なども話題になっています。税理士には単に税額の計算をするだけではなく、納税者の状況を理解した上でルールを守るためのアドバイスが期待されているので、税理士自身も時代やビジネス、税制の変化に適応し、日々勉強を重ねた上で最新の情報やサービスを提供することが求められています。

Q　苦労されていることは何ですか。

A　様々な相談者の置かれた状況を把握して、多岐にわたる税制に当てはめていくのは苦労しますが、この仕事のやりがいを感じる場面でもあります。

Q　行政に望むことは。

A　適切な納税を支援するために税理士会として、無料相談会等を開催しているので、行政からも積極的な情報発信をお願いしたいと思っています。

議会広報常任委員会の仕事を紹介します！

市議会定例会などの議会活動をお伝えするため、「ふじみ野市議会だより」を編集・発行しています。

７名の編集委員が記事を選定し、写真を含む原稿作成や、インタビュー記事の取材などを進めます。なお、一般質問は質問者自身が記事と写真を提出しています。

毎号約６回の編集会議で意見を出し合い、校正を重ね発行となります。そこには皆で一つのものを作り上げた達成感があります。

編集会議で紙面を見ながら校正

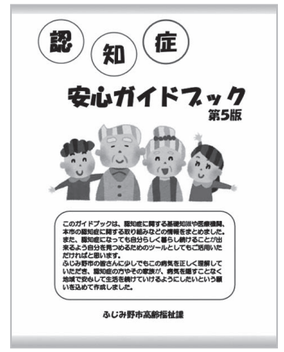
市政を問う！

一般質問

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、17人の議員が一般質問を行いました。掲載した内容は各議員本人が要約したものです。なお、全ての質問と回答は市議会ホームページの会議録で閲覧できます。（８月下旬掲載予定）

軽度認知障がいの早期発見への取り組み

坪田　敏孝　議員



問　軽度認知障がいの早期発見への取り組みの現状は。

答　70歳から85歳の対象者に対して、はつらつ健康チェック調査を行っている。令和４年度は１万７６３１人に送付し、65・４％の回答があった。

通学路の安全対策

問　令和４年度に対応した通学路の安全対策の件数は。

答　道路反射鏡の設置・修繕を44件、防護柵の設置・修繕を37件、注意看板を約１４０ヵ所設置している。

防犯灯の設置

問　新規住宅地域での防犯灯設置の取り組みは。

答　都市計画法に基づく開発行為については、事業者と協議を行い、事業者の負担で防犯灯を設置することを指導している。今後も積極的に指導を行う。

自治組織のＩＴ機能整備への支援

問　自治組織のＩＴ機能整備に対する支援の状況は。

答　パソコンの購入など初期導入の費用や、その後の維持管理費用について補助金を交付している。

11月オープンのステラ・ウェスト

ステラ・ウェスト オープンに向けて

加藤　恵一　議員

問　式典などの概要は。

答　令和５年11月４日の午前に開館式典を行い、４日、５日の２日間オープニングイベントを開催する計画である。

内容は、市内幼稚園児のダンス、中学校吹奏楽部の演奏、市内の文化芸術団体やサークルに活動の成果を披露してもらう予定である。また併せて美術作品の展示も予定している。

来場者には、様々な催しを鑑賞してもらい、出演者も含め、多くの人と一緒にお祝いしてもらいたい。

消防団支援の取り組み

問　女性消防団ＰＲの取り組みは。

答　市消防団の女性団員は８名在籍し、市の総合防災訓練、普通救命講習の講師などで活躍している。

また、本年10月21日に開催される第25回全国女性消防操法大会に入間東部支部女性消防隊として、本市からも２名の団員が参加を予定している。

本市としては、市報やホームページ、ＳＮＳを通じて女性消防団員の活躍を紹介することで団員確保につなげていきたい。

ChatGPTへの対応

金濵　高顕　議員

問　ChatGPTの登場によって社会情勢は大きく変化すると考える。活用や危険性を検討する上でも調査チームを立ち上げては。

答　業務改革に有効であると考えられるツールについては、情報化推進専門部会で情報収集・課題の研究を実施していきたい。

大井武蔵野・亀久保地域の公共交通対応

問　公共交通機関にアクセスしづらい地域がある。※デマンド応答型交通システムを導入できないか。

答　本市ではお出かけサポートタクシー事業を実施している。他市の事例を収集するなどの取り組みを進めていく。

川越江川

元福岡・川崎地域への水害対策

問　一帯の水害対策には川越市との協議がさらに必要と考える。状況は。

答　川越江川の開きょ部分について、西沼橋から元福岡集会所までの約２４０ｍに対し、かさ上げパネルを設置することにより、浸水被害の軽減を図る対策を協議している。

生まれ変わる東久保中央公園

板倉　篤　議員

問　東久保中央公園の舗道と芝生の段差をバリアフリー化する考えは。

答　市でも把握しているところであり、令和６年度に改修工事を予定している。幅広いイベントで利用され多くの市民が利用する公園であることから、施設全体を誰でも利用できるように、より一層のバリアフリー化とインクルーシブ化に努める。

教育を受ける機会の保障は

問　小・中学校の不登校児童・生徒に対するオンライン授業等の実施状況は。

答　タブレットを活用しビデオ通話での授業や朝会への双方向的な参加、学習到達度に応じた課題が出題される学習支援ソフトを導入するなど、学習機会の保障を図るほか、定期的な生活面と学習面の相談支援を実施している。

東久保中央公園

災害時のドローン活用

問　被災状況把握のためドローンを活用しては。

答　被災状況把握にドローンの活用は有効と考える。その運用については入間東部地区事務組合消防本部が民間企業と協定を結んでおり、本市は消防本部と情報を共有することで状況把握を行っていく。

4年ぶりの上福岡七夕まつり

鈴木　宏樹　議員

問　開催に向けての特別な予算や新たな取り組みは。

答　今年は４年ぶりの開催となり、再開記念事業に対する予算の上乗せと催事部会等で内容の調整を行っている。

伝統ある竹飾りも、前回実績の約２５０本に近づけたい、華やかな祭りにしたい、といった観点から助成金を２倍にする。

来場者や参加者にとって、ワクワクするような祭りになるよう安全安心を第一に進めている。

新たな取り組みとしては、芸人のライブ、ヒーローショー、スタンプラリーの開催などを予定していると聞いている。

福岡中央公園の環境整備

問　強風時の土・砂・ホコリの舞い上がりへの対策は。

答　平成30年度に公園愛護会や、地域住民から出された要望を基に、令和元年度に園内の更新整備工事を実施した。

令和３年度から現在までにも不足部分を追加で改修工事も実施した。

今後も土ぼこりの発生しにくい材料に置き換える整備を継続的に実施していく。

※デマンド応答型交通：需要に応じて発着地やダイヤを組み合わせて車両を派遣するシステム。利用者はアプリや電話で予約し、必要な時に近くの乗り場で車両が迎えに来る。

帯状疱疹（たいじょうほうしん）ワクチン接種

古越　孝子　議員

問　帯状疱疹の予防に対する周知・啓発は。

答　市ホームページで感染症情報としてお知らせし、電話や窓口等で相談があった場合には情報提供している。

問　ワクチン接種費用の助成を行うべきでは。

答　現時点では行っていない。近隣自治体の実施状況など踏まえ、調査・研究に努める。

救命処置の取り組み

問　傷病者のプライバシー配慮のためAEDに三角巾を配備しては。

答　保健センターでは、年3、4回の普通救命講習で、ためらわず迅速に対応することが重要と伝えている。現在AEDにタオルも備えており、プライバシー保護として使用してもらいたい。

子どもの居場所づくり

問　不登校児童・生徒の実態と学校としての取り組みは。

答　令和4年度の不登校児童・生徒は、小学校で75人、中学校では183人であった。

取り組みは、担任を中心として学年の教育相談担当や学年主任、養護教諭、学び育ちサポーターが寄り添い、保護者と連携している。また、タブレット端末を活用しニーズに応じた学びの場を提供している。

マンションの長寿命化

民部　佳代　議員

問　マンション管理適正化法が改正され、本市にもマンション管理計画認定制度ができた。長期修繕計画の作成・見直しや修繕費積立金が適正に運用されているかなど基準を満たしたマンションが認定されるが、制度の周知と認定の支援は。

答　管理組合にチラシなどで周知を検討する。また埼玉県マンション居住支援ネットワークと連携し、相談会やセミナー開催の情報を提供する。

問　税制との関係は。

答　認定を受け一定の要件を満たせば、建物の固定資産税が3分の1減額される。減額制度についても周知を図る。

PTAと学校の関係

問　非会員の児童が通学班に入れないと聞く。集団登校は学校の指導ではないのか。

答　入会の有無で通学班に入れないことはあってはならない。班編成はPTAに依頼しているが、全ての児童が通学班に属している。

問　PTA会計から学校備品を購入したり、現金で寄附を行う場合がある。寄附のルールは。

答　事前に申請し寄附採納の手続きを行う必要がある。各学校にルールを徹底する。

伴走型支援で「孤育て」防止の推進を

川畑　京子　議員

問　県の子育てファミリー応援事業に参加しては。

答　参加について検討する。

問　子育て世帯訪問支援事業の現状及び課題は。

答　利用者の増加により、支援員などの担い手が不足している事業があり、今後は増員を図っていかなくてはならない現状である。

多様な家庭環境等に対応すべく、担い手の確保についても民間団体と連携を図りながら支援体制の強化に努める。

問　産後ドゥーラの活用及び養成講座受講料への一部助成制度の創設は。

答　出産後の母子に対して心身のケアや育児のサポート等きめ細かい支援を行い、安心して子育てができる環境を整える一環として、産後ドゥーラの活用及び養成講座受講料への一部助成制度の創設について引き続き研究していく。

防災備蓄品管理の業務効率を

問　民間委託の活用で保守管理を行う考えは。

答　限られた人員で様々な防災対応を行う必要があることから、民間委託の活用を含め、防災備蓄品の効率的な管理に向けて検討を進めていく。

商店会の維持発展のために

川島　秀男　議員

問　厳しい状況にある商店会の継続に向けての市の関わりは。

答　問題を抱える商店会の声に耳を傾け、顔の見える関係性を築きながら、共に考え、より良い方向性を見出せるよう市、商工会、商店会連合会における連携をより一層強化して対応していきたいと考えている。

新型コロナワクチンの副反応

問　接種後の副反応データの周知を。

答　接種券を送付する際に、詳細については市ホームページへの案内、各種ワクチンの説明書を同封し、正しい情報を提供し、周知に努めている。

学校現場でのマスクの在り方

問　千葉県の教育委員会では教職員に対してマスクを外す指導をしているが、市の現状は。

答　教育委員会では、教職員に対して率先してマスクを外すような指導は行っていない。しかし、教職員が児童・生徒に対して、マスクの着用が必要ない場面について積極的に発信し、指導している。

インクルーシブ教育の理念

鈴木　啓太郎　議員

問　障害者権利条約に基づく国連の勧告では、特別支援教育は分離にあたるので中止せよとあるが。

答　勧告への国の見解を踏まえ、障がいの有無にかかわらず、共に学ぶ場の提供と、発達段階に応じたインクルーシブ教育の理念構築を目指す。

問　どのように特別支援学級の支援員等の資質向上を図るか。

答　理解と熱意のある人を採用し、特別支援コーディネーターが研修の企画運営など経験の浅い教職員を指導する。

問　通常学級、特別支援学級の垣根をいかに越えるか。

答　通常学級も個性を大事に、子ども同士の学び合いが必要という考え方に変わっていかなければならない。ある意味では、特別支援教育の理念が通常の学級の中でも生かされていくことになる。

インクルージョンで行われた体育祭演習

夕方支援の要望は

問　夕方支援の要望については。

答　自宅で居宅支援、行動援護や移動支援を使って外に出て余暇活動を楽しむこともある。この日中一時支援事業の要望がとても高い。

地域で行うラジオ体操の普及啓発を

鈴木　美恵　議員

問　地域で行うラジオ体操は気軽なコミュニティ活動であり、健康増進、認知症予防、そして防犯にもつながるため、拡げてほしいと考えるが市の取り組みは。

答　今年度は全国ラジオ体操連盟から指導者を招いて講習会を開催する。

今後も自治組織と連携し、地域で行うラジオ体操事業の充実を推進していく。

ラジオ体操の様子

暮らしの安心・安全の強化

問　防犯推進事業の取り組みは。

答　「ながら防犯」を推進するわんわんパトロール講習会やウオーキングパトロール講習会等の「防犯講習会」、市職員による地域に出向いての「防犯講話」、犯罪発生状況に応じた「防犯キャンペーンの実施」、犯罪情報や防犯情報の発信、「振り込め詐欺等対策機器の購入費補助」等を実施。

今年度は大学生等の若年者に協力を得て防犯キャンペーンも行った。

問　防犯カメラや対策機器購入費に一部補助の考えは。

答　防犯カメラや自転車降車時のヘルメット盗難防止グッズへの関心が高いことを認識している。先進事例等を調査し、研究していく。

駅のバリアフリー化の推進を

床井　紀範　議員

問　駅ホームドアの設置を東武鉄道に要請を。

答　東武東上線改善対策協議会において、毎年、駅ホームドアの設置の要望活動を行っている。

問　ふじみ野駅改札口と連結したエレベーターを西口に整備することについても、東武鉄道に対して要請を。

答　新たなエレベーター設置の要望は考えていない。

公共事業に係る労働者の労働環境

問　賃金の支払い状況を適切に把握するために、市は公共事業の受注者に対しアンケートや聞き取りを行っているが、さらに市として対応を徹底すべきではないか。

答　労働環境チェックシートに疑義が生じた場合には契約約款に基づき、必要な調査を行う。調査の結果、不適切と判断された場合には改善指示を行う。

改善指示に従わない、報告内容に虚偽があった場合には入札参加停止等の措置を講じた上で、契約解除を行うことができる規定となっている。

水害時の避難救助と避難所の整備体制

田中　早苗　議員

問　浸水リスクの高い地域における自力避難困難者への対応は。

答　避難行動要支援者については、地域自治組織、民生委員、消防などの関係機関との情報共有や連携強化等を図り、円滑な避難行動につなげるように努めていく。

問　避難所にファミリータイプのテントの設置を。

答　4、5人用のテントを指定避難所20ヵ所に各3張り、福祉避難所に15張り、防災備蓄品管理倉庫に25張り、合計100張り用意している。

ポンプ車による排水作業

市内循環ワゴンの利用者負担軽減

問　市内循環ワゴンの利用者の負担軽減策として、高齢者無料パスの復活を。

答　減免制度の拡大は考えていないが、今回の見直しでは現行コースを改善したほか、新たなコースを設定し、実質増便した。運行経費が増加したが、運賃設定を維持するよう配慮した。

大井通信所の役割と危険性

足立　志津子　議員

問　自衛隊施設の「強靭化」計画に大井通信所が明記された。攻撃の標的とされる可能性が高い大井通信所は、近隣に学校もあるような地域に置かれている。市民の安全を守る対策は。

答　埼玉県基地対策協議会を通じて、関係省庁に要望書を提出している。

お出かけサポートタクシーの利便性向上

問　利用回数と補助金の上限をなくし、事業創設当初に戻すべきでは。

答　一部の人だけでなく誰もが利用できるように回数と補助金額に上限を設け、公平性を図った。

水宮地区の排水ポンプ常設化は

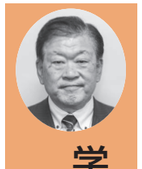
問　2015年、県は常設化を認めた。その後の進捗は。

答　国道254号バイパス区画整理地内に整備する調整池（約9万8千㎥）の効果に期待できるので、ポンプについては、その後改めて検討したい。

歯科口腔保健事業の充実

問　歯科衛生士など専門職の活用を。

答　埼玉県歯科衛生士会等と連携を図りながら、歯科口腔に関する教育を推進したい。



学校給食の無償化を

塚越　洋一　議員

問　無償化について市の考えは。

答　給食費の無償化は、国の政策の一環として行われるべきものである。食材費の高騰分については、保護者に負担を求めることなく公費を投入している。

給食センター

親亡き後の障がい者の生活の場の確保を

問　90歳の親が60歳の障がい者をケアするケースなど、親の高齢化は深刻だ。グループホームの増設等の具体策は。

答　親と同居の50歳以上の障がい者は175人いる。その内の2割を父母等が介護している。緊急時対応事前登録など、障がい者本人や家族と「障がい者総合相談支援センターりあん」との関係が継続する体制を整えている。

市内のグループホームは10ヵ所。重度の障がい者が入居できる所は少ないので、社会福祉法人等から相談があれば、施設整備費補助金の申請に向け協力していく。

地域自治組織の危機打開策

問　役員のなり手不足対策として学校などとの協力・連携についての考えは。

答　スポットボランティア、地域協働学校などと課題を共有するなどの支援をしていきたい。

電気自動車の充電設備の充実を

小林　憲人　議員

問　公用車に導入することなどを踏まえ、本庁舎以外の公共施設にも充電設備の設置が必要では。

答　現在進めている太陽光発電導入可能調査において、駐車場の太陽光発電から充電できる設備の設置を検討していきたい。

本庁舎の充電設備

帯状疱疹の重篤化を防ぐために

問　帯状疱疹に罹患し、後遺症に悩まされる人がいる。予防接種の必要性をどう考えているか。

答　50歳以上は発症リスクが高くなる傾向があり、ワクチン接種は発症しないための選択肢の一つと考えている。

障がい児の18歳以降の支援

問　障がい児が18歳になると、今まで受けられたサービスが受けられず、戸惑う保護者がいる。なだらかに接続する制度が必要では。

答　対象年齢の拡大など、必要な制度の見直しに関し、国や県に要望していく。

中一ギャップを見据え連携強化を

問　小学校と中学校でのオンライン上での交流を。

答　手法について研究を重ね、実施に向け検討していく。

きょうだいの保育所入所への配慮

原田　雄一　議員

問　大阪府岸和田市では、昨年11月に長女と3女を保育所へ送り、2女を別の保育所へ送ったと思い込み、車内で熱中症で亡くなるという痛ましい事故があった。最初から同一保育所へ入れるよう可算点数の見直しが必要では。

答　入所時の条件は、きょうだいに関わらず公平に考えている。

問　きょうだいが既に保育所にいる場合の対応は。

答　既にきょうだいが入所している場合は、1人入所は1点、2人以上入所は2点加算される。すでに、別々の保育所に入所しているきょうだいが、どちらか一方へ転所の申請をすると40点加算され、同一の保育所へ入りやすくなる。

耕作放棄地への課税

問　木が生い茂り数十年にわたり耕作していない農地の課税状況は。

答　国が示す固定資産評価基準に基づき、現況の地目により課税を行うこととされている。現状から農地として復元できる状態にある場合は農地、できない場合は雑種地として地目認定を行うこととなる。

今後、農業委員会と連携して他市町の動向も踏まえ適正な課税に努めたい。

編集委員がインタビュー！

表紙：働く人シリーズに寄せて

ペットトリマーさん に伺いました

Q お仕事の内容を教えてください。

A ハサミなどを使って見た目の美しさを整える仕事です。また、飼い主や獣医でも気付きにくい肌や耳、歯、爪などの健康状態もチェックしています。

Q お仕事を始めたきっかけは。

A もともと犬を飼っていたので、犬に関わる仕事がしたいと思っていました。専門学校で学び、サロンや動物病院などで経験を積んで独立しました。

Q 嬉しいことや大変なことは。

A ペットが生活しやすいスタイルを提案し、必要なカットやケアを行うことで、飼い主が喜んで笑顔になることが嬉しいです。

動物は話せないので、気持ちを汲み取ってあげることが大変です。飼い主の要望と実際の生活環境とで違いがある場合に、ペットの負担にならないよう対応しています。

Q 飼い主に一言お願いします。

A ペットが家族の一員として、健康で長生きできるように楽しく生活してください。

夏場の散歩は日中を避けてもアスファルトが熱くなり、犬にとっては大変です。

犬種によっては紫外線の影響を受けたりするので、散歩のときには洋服を着せても良いと思います。

中澤（なかざわ）　和宏（かずひろ）さん

市議会だよりは、ふじみ野市のホームページからも閲覧できます。
市議会の会議録も見られます。
録画放映やSNSもご覧ください。

ふじみ野市議会　検索

6月定例会の傍聴者は57人でした。

次の定例会の
開会予定：8月28日 午前9:30～
市役所4階議場で開催します

請願締切予定：8月18日 午前10:00

議会広報常任委員会

委員長	鈴木　美恵	副委員長	床井　紀範
委員	古越　孝子	委員	川島　秀男
委員	板倉　篤	委員	田中　早苗
委員	民部　佳代		

表紙の題字を書いてくれた人

大井中学校3年　野口（のぐち）　心路（こころ）さん

私の住んでいるふじみ野市は、若者や家族、お年寄りなどたくさんの人が住んでいます。その中で、地域の方々と互いに声を掛け合い、助け合いながら過ごすことのできるそんなふじみ野市のみなさんが大好きです。

編集後記

新型コロナウイルス感染症が「2類」から「5類」に移行され、マスクを外している人を見ることや、自身が状況によってマスクを外すことにも慣れてきました。また、近くの小学校からは賑やかな声が聞こえてくるようになりました。

さて、4月の市議会議員選挙により、この市議会だよりを編集する「議会広報常任委員会」も新体制となりました。今号では、委員会の仕事を、会議や取材風景の写真とともに紹介しています。

これからも市議会の情報をお伝えするとともに、市民の皆様に関心の高い事柄についても積極的に掲載し、魅力のあるものにしていきたいと思っています。

今後もふじみ野市議会だよりをよろしくお願いいたします。

（鈴木　美恵）

市議会議員による時候のあいさつ状、寄附行為等は、法律で禁止されています。ご理解をお願いします。

編集・発行／埼玉県ふじみ野市議会
〒356-8501 埼玉県ふじみ野市福岡1-1-1
TEL 049-262-9046　FAX 049-269-4847（議会事務局）